

サガン鳥栖に
関わるすべての人を
笑顔に!

川崎Fを相手に
最高の

パフォーマンス
を見せる



MF 5 So KAWAHARA
| 河原 創



木村情報技

Yoichi NAGANUMA



MF 24 Yoichi NAGANUMA
| 長沼 洋一

2月に開幕した今シーズンもいよいよ今節で最終となる。勝利から遠ざかっているサガン鳥栖だが、前節・柏戦はアウェイで開始早々に先制点を挙げ、一度は逆転されるも同点に追いつく粘りを見せた。同点ゴールを挙げたMF長沼洋一は、これで今季10得点目。久しぶりに鳥栖に2ケタゴールが誕生した。そんな明るいニュースを受けて最終節・川崎F戦を迎える。

川崎Fは、2020年と2021年に連続優勝を果たしたチャンピオンクラブ。今季はここまで9位と実力を発揮できていないが、前節は鹿島を3-0で下すなど本来の力が戻ってきた。前回対戦でゴールを挙げたMF脇坂泰斗やFW宮代大聖に加え、FWレアンドロ・ダミアンやFWマルシーニョなどがあり、チームとしても、個人としても高いレベルを誇っている。

長沼は「川崎Fは強いです。相手をサイドに寄せて数的優位を作りながら、個人も上手いのでボールの取りどころがない。個人的に一番嫌な相手」と評した。そのうえで「勝つだけです。なかなか勝てていないので、勝ちをしっかりと届けられるように、そしてみんなが笑顔になって帰ってくれるように、そんな試合をしたいと思います」と力を込めた。ここまでフィールドプレイヤーでチーム唯一のフルタイム出場を続けるMF河原創も「個人の能力、技術の高さはリーグでも1・2番だと思います」と川崎Fの力を認めながら、「中盤でボールを奪えればチャンスは出てくると思うので、そこで奪い切りたい。チーム全体としてテンポをコントロールすることが大事なのではないかなと思います。攻撃でも行く時と行かない時の使い分けをしたい」と話した。さらに「今年は1点だけなので、あと1つ取りたいという気持ちはあります」と続けた。

今季最終戦をホーム・駅前不動産スタジアムで迎えられる幸せ。鳥栖に関わるすべての人を幸せに、笑顔にすると誓ってスタートしたこのチーム。この最終節でみんなを笑顔にするために、今季最高の試合を見せる。



mobile.

アニマル・ワン
Aspire for The Best



木村情報技